

# 一般質問…ここが論点

9月定例会

9月市議会定例会中、4日、5日、6日の3日間で、市政全般について13人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

新実祥悟（無党派）

障害者雇用について

**問** 障害者自立支援法により義務付けされた就労支援事業の取り組みと就労支援員（ジョブコーチ）の支援要請の実態はどうか。

**答** 浜町に相談専門員を配置した「障がい者支援センター」を設置しており、企業訪問やハローワークとの連携をとりながら支援活動を実施している。

東三河の社会福祉法人等に所属するジョブコーチに支援要請を行い、障害者の就労支援に努めている。

**問** 一般企業への長期雇用に関するネットワークづくりができないか。

**答** 今年7月から、障害者の雇用実績のある事業主も加わった障害者自立支援協議会が設置された。また、実務者によるケース検討会議を重ねながら、具体的な支援体制づくりを推進したいと考える。

その他の質問  
1 指定管理者制度に関わる処分について

大場康議（市政クラブ）

防災対策について

**問** 気象庁の緊急地震速報や市防災無線に対応した防災行政ラジオを市内全戸配布する考えはないか。

**答** 今年度は予定数を大幅に上回る2520台の申し込みがあり、補正予算で申込者全員に販売する。今後はテレビ、携帯電話



防災行政ラジオ

等で地震速報が可能となることなどから、数年の短い期間での販売としたいが、希望者の要望には応えたい。

**問** 災害発生時に要援護者の安否確認をするための名簿作成が必要だが、本市の整備状況について伺う。

**答** 高齢者・障害者・乳幼児・外国人等が災害時要援護者に該当するが、これらの方のデータは市で保有しているが、地域や自主防災会等に配備されていないのが現状である。個人情報保護法が支障となり、名簿作成が困難なこと、仮に名簿作成がされても、災害時に機能する地域関係者の連絡システムが未整備なことなど問題が多いが、今後、市民の防災意識の高まる中で、研究・検討はしていく。

野崎正美（市政クラブ）

国道23号蒲郡バイパスについて

**問** 蒲郡バイパス全線の開通時期はいつと予想しているか。また、蒲郡西ICと関連アクセス道路が整

備されるのはいつか。  
**答** 事業主体である国土交通省から、10年後の全線開通を目指すと聞いている。蒲郡西ICは、平成21年が供用開始目標だが、アクセス道路も同時開通に努力している。

競艇の上空通路と施設改善計画について

**問** 上空通路が中断して久しいが、現状と今後の見通しについて伺う。  
**答** 用地交渉の難航と収益悪化により中断していたが、今年度から用地買収を再開している。



蒲郡競艇場